

# Volunteer Information 日野

ボランティア  
インフォメーション

# 2024 9月

日野市民で考える防災・減災シンポジウム2024

## 災害が起きたら 家族・地域をどう守る？



### 第1分科会 9月21日 (土)

10:00~12:30 定員30人

※ ZOOMで視聴のみ可能です

#### 被災地を身近に考える

～現地からみる災害と

自分たちのこれから～

春原 圭太氏 (一般社団法人日本笑顔プロジェクト副代表)



### 第2分科会 9月21日 (土)

14:00~16:30 定員40人

#### 教えて!あなたのコト

～見た目では分からない

要配慮者と共に～

障がいのある当事者、障がいのある方の家族



### 第3分科会 9月28日 (土)

10:00~12:30 定員30人

※ ZOOMで視聴のみ可能です

#### 災害トイレチャレンジ!

～発災後のトイレを考える～

田中 友統氏 (ニッポー設備株式会社 代表取締役)



### 第4分科会 9月28日 (土)

14:00~16:30 定員40人

#### 避難所で起こる「想定外」を 「想定内」にするために!

辛嶋 友香里氏 (一般社団法人ピースボート災害支援センター)



日時

9月21日(土)

9月28日(土)

開場 9:45/開始10:00~12:30

開場13:30/開始14:00~16:30

参加費  
無料



会場

日野市民の森ふれあいホール

コミュニティールーム1 (日野市日野本町6-1-3)



申込

QRコードまたは電話申込 (先着順)



申込用QRコード

詳細は裏面を  
ご覧下さい

持ち物 上履き 手話通訳あり



【お問い合わせ】

日野市ボランティア・センター

TEL: 042-582-2318

【主催】日野市民でつくる防災・減災シンポジウム実行委員会

日野市社会福祉協議会

【協力】日野市、日野市内社会福祉法人ネットワーク

# 今月の注目ボランティア

障害のある方と一緒に  
身体を動かせる方！



内 容：みんなと一緒にの運動会で障害のある参加者と一緒に競技をしてくれる方を募集です。

活動先：日野市民の森ふれあいホール  
(日野市日野本町6-1-3)

日 時：10月6日(日) 9:00~16:00

ボランティアセンターで  
できるボランティア

内 容：食品の仕分け・箱詰め作業  
パソコン事務・封入作業  
ホスピタルアートづくり

活動先：中央福祉センター

日にち：月~金 9:00~17:15

デイサービスで演奏・歌  
の披露できる方！



内 容：楽器は問わず、演奏・歌など披露をして下さる方を募集中。グループでも個人でも構いません。

活動先：ツクイ日野(日野市万願寺3-13-4)

日 時：活動者の都合の良い時



もっとボランティア  
情報が見たい方は  
こちらのQRコード  
をお読みください。

問合せ先：ボランティアセンター ☎042-582-2318)

日野市民でつくる  
防災・減災シンポジウム2024

## 災害が起きたら 家族・地域をどう守る？

企画・運営

東日本大震災をきっかけに市民を中心とした実行委員会を発足し、日野市の防災・減災について考えるシンポジウムを企画・運営しています。障害当事者団体や社会福祉法人ネットワークや大学ボランティア団体、そして日野市も加わり官民一体となり災害に強い(地域の絆をつくる)まちづくりを目指しています。

誰でも参加していいの？

日野市の防災・減災に関心のある方でしたらどなたでも参加可能です。

分科会では何をやるの？

専門の方や当事者の話を聞いたり、テーマについて参加者同士で話し合ったりします。

シンポジウムに参加して私たちはどうすればいいの？

ご自身の生活に役立てたり身近な人に広めて頂けると幸いです。

第1分科会「被災地を身近に考える～現地からみる災害と自分たちのこれから～」  
9月21日(土) 10:00~12:30

- ▷ 内容：①被災地の写真展示 ②能登半島地震の支援を知る ③座談会
- ▷ 登壇者：春原 圭太氏(一般社団法人日本笑顔プロジェクト副代表)
- ▷ おすすめ：被災地を知りたい方、ボランティアに興味のある方、重機ボランティアに興味がある方



第2分科会「教えて！あなたのコト～見た目では分からない要配慮者と共に～」  
9月21日(土) 14:00~16:30

- ▷ 内容：①障がいのある方と障がいのある方の家族による講話 ②グループディスカッション
- ▷ 登壇者：障がいのある方/障がいのある方の家族
- ▷ おすすめ：自治会の方、防災会の方、要配慮者に関心のある方、当事者とご家族の方

第3分科会「災害トイレチャレンジ！～発災後のトイレを考える～」  
9月28日(土) 10:00~12:30

- ▷ 内容：①災害時のトイレの備え ②災害トイレ体験の感想
- ▷ 登壇者：田中 友統氏(ニッポー設備株式会社 代表取締役)
- ▷ おすすめ：自治会の方、防災会の方、災害に関心のある方



事前に被災者体験として、災害トイレの体験キットをお送りしますので使用後のアンケートを当日ご持参下さい。※会場参加者のみ

第4分科会「避難所で起こる「想定外」を「想定内」にするために」  
9月28日(土) 14:00~16:30

- ▷ 内容：①石川県輪島市で支援活動をしている方からの講話 ②グループディスカッション
- ▷ 登壇者：辛嶋 友香里氏(一般社団法人ピースボート災害支援センター)
- ▷ おすすめ：避難所に関心がある方、防災会の方、避難所生活について知りたい方

100回同じこと聞いても怒られない  
スマホ講座の情報はこちら



9月9日 (月)

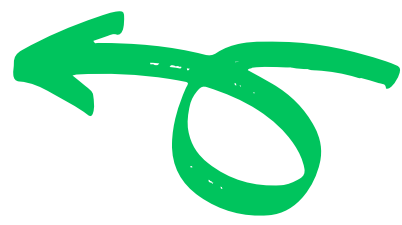
- ① 11:00~12:00 (スマホ体験会)
  - ② 13:30~14:15 (個別相談)
  - ③ 14:30~15:15 (個別相談)
- 会場：中央福祉センター (日野本町7-5-23)

9月30日 (月)

- ① 13:30~14:15 (個別相談)
  - ② 14:30~15:15 (個別相談)
- 会場：福祉支援センター (高幡1011)

無料・完全予約制

※2ヶ月連続の申込・同月複数回の申込不可  
※個人情報や料金に関わる相談は対応できない場合あり



もっとお近くの場所でも  
開催されてるかも!?

※予約が必要な場合がありますので  
下記までお問い合わせください。

スマホ講座日程表

【申込先】日野市ボランティア・センター (042-582-2318)

あおいとり日野の  
**おから入り 動物サブレ**

あおいとり日野の新商品  
「おから入り動物サブレ」をご存じですか?  
「とうふ処三河屋」のおからを  
「七生福祉園」でパウダー状に加工し  
アーモンド風味に仕上げた可愛いサブレ♪  
きりん・うし・こあら など種類も豊富です!

どこで買えるの?

- パン工房あおいとり 東平山3-1-27
- パンの店あおいとり 多摩平2-1-1豊田駅北口ロータリー
- 豊田駅北口ショップ あーく・あーく 多摩平2-5-1-1F

2枚入り  
120円!

ギフトに  
お土産に  
おやつに

**あおいとり日野って?**

受託作業やパン事業を展開し、豊田駅北口にはパンの店もあります。障害が重くても笑顔のあいさつでお客様をお迎えする『スマイルワーク』を展開しています。あおいとりは一人ひとりの「気持ち」を大事にしています。

暇なとき ライン来たけど 即レスは  
ばれるよ暇が いったん寝かせる

短歌って、なんかいいなって思うんです  
けど、ハードル高くないですか  
季語いるの?形式まもないとダメ?  
うーん  
でもほら、気持ちとか風景とか、敢えて  
言葉にしない美しさとかいいじゃないで  
すか。それにテレビで気軽にやってい  
ってプロが言ってたし。

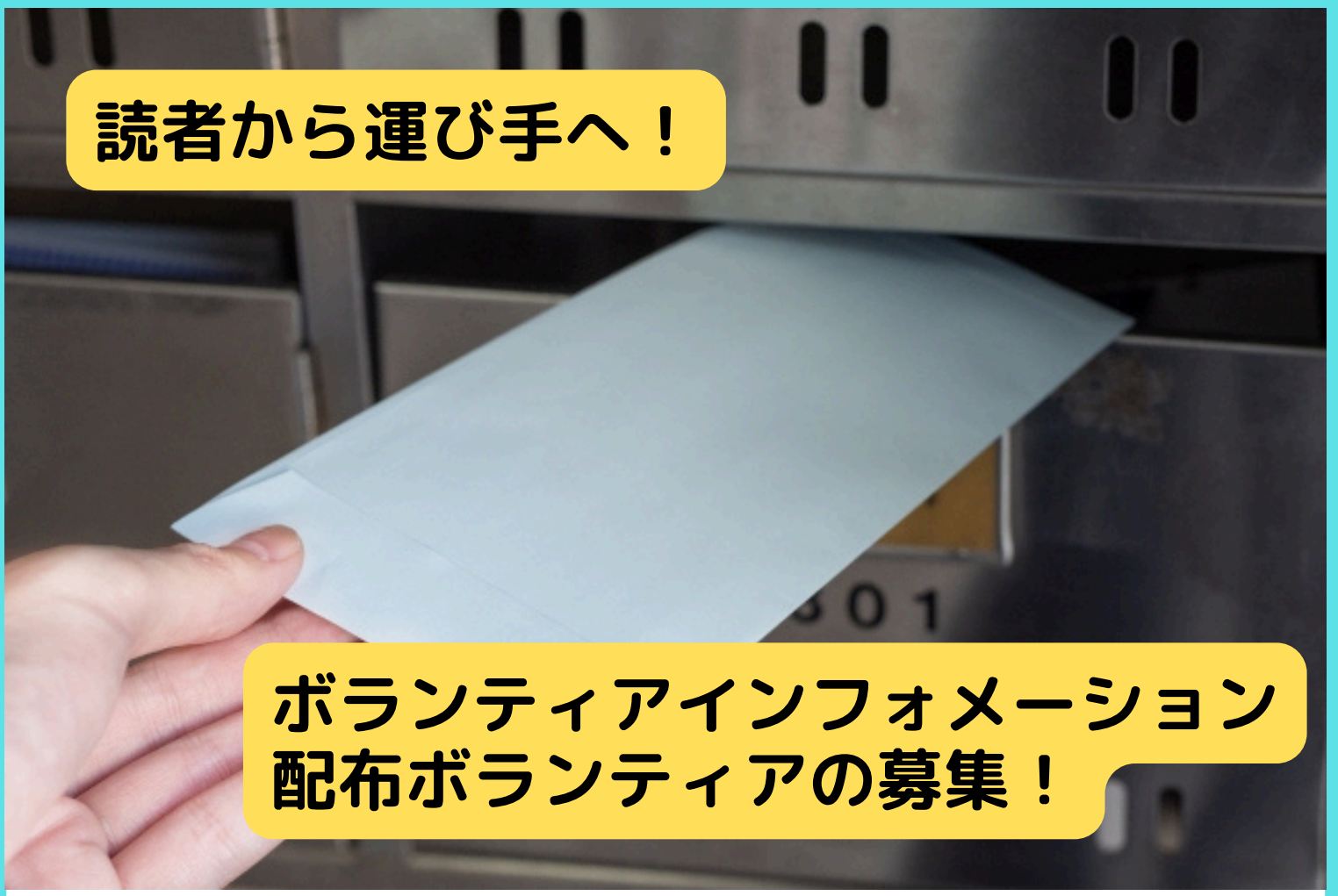
会の雰囲気  
主催が未経験なので  
みんなで歌を作り、  
匿名形式で発表。  
それについて素人目線  
でおいおい言う会です

素人の思い  
つき短歌会

9 / 29 (日)  
13:30集合 ~15:30  
百草図書館 2階 談話室 無料

主催&申込 もぐさ文庫  
右の申込みフォーム又は  
mogusabunko@gmail.com

読者から運び手へ!



ボランティアインフォメーション  
配布ボランティアの募集!

- 内 容：ボランティアインフォメーションを  
配布するボランティア
- 活動先：ご自宅の近く~届けられる範囲  
(応相談)
- 日にち：毎月月末~月初
- 条 件：上記の時期にインフォメーションを  
取りに来れる方



活動することで散歩にもなるし健  
康にもいいよね!

問合せ先  
日野市ボランティア・センター ☎042-582-2318

# まちづくり人 コラムリレー

誰もが住みやすい豊かなまちを目指して、日野市内外で輝く「まちづくり人」を紹介します。  
あなたもきっと「まちづくり人」！



日野保育園 園長  
野原久代さん

つかえる「ばばあ」でありたいと思う

日野保育園は創立75年になります。設立当時は農繁期託児所と呼ばれ、当時日野町の多くの農家さんのお子さんをお預かりする場所で、祖母の野原キクが創設したのが始まりでした。これまでに卒園した子どもは3245人で、最初の園児は昭和19年生まれの方です。そういった家に生まれた私は、実は保育園で働こうと思ったことはありませんでした。しかし、厳しい父親から半ば強引に引き込まれ仕事を覚えていきました。私が保育園で勤めるようになってから卒園した子は約800人です。いつも願うのは、卒園していった子どもたちが、私より先に亡くなるのが無いように思うことです。とにかく命は大切です。そう思うのも私の姉が、若くして筋ジストロフィーになり、母と私で介護をしてきたこともあるかもしれません。2011年3月11日、東

日本大震災が発災しました。その時は、とにかく衝撃を受け、テレビの映像なども見られませんでした。実は今も見られないんです。あの時から「人の命と引き換えに自分たちが生きていることを教えられている」と強く思うようになりました。そして今、日野市民でつくる防災・減災シンポジウムの実行委員を数年やっています。それも東日本大震災のことを避けてきてしまったことから、関わらないといけない、自分事として向き合うためにも行動しなければならぬと思っています。先日、能登半島地震の被災地に行くことができました。そこで見てきたものは、発災から8カ月が経った今も手つかずの場所があり、生活の場やご近所づきあいも奪われてしまった人が、孤独になっていくといった現実でした。東日本大震災でもそうですが、今まで日本を支えてきた方々が寂しい最期を遂げることに悲しさと憤りの気持ちが込み

あがり、消えません。

そんな被災地で、ため息ばかりついてしまいうような時に聞えてきたのが、仮設の復興集会所の裏手で、中学生が楽しそうに笑っている声でした。その時に、フツと安心した気持ちになりました。非日常から日常を取り戻していくことが改めて大切であると感じました。

日本ではいつどこで大規模災害があるかわかりません。そのことを考えるだけで不安を覚えますが、その時を乗り越えるために必要なことが、人と人との支え合いなのだと思うのです。災害があっても、人が分断されない関係を普段からつくること、日野保育園としても、いざという時に、子どもにとって特に、非日常を日常にしていけるように職員とともにつくってきたいですし、私自身、普段から「つかえる『ばばあ』」でありたいなと思っています。(笑)



復興集会所の周りで聞こえてくる子どもの笑い声



ボラセンつづやき



お盆休みに帰省先の岡山から帰る時の話です。山道を車で走っていると出るわ出るわの鹿の群れ。計20頭位とすれ違いました。地元の妻も驚いていましたが、きっと一番驚いたのはいきなりクラクションを鳴らされた鹿達ですよね(伊東直樹)

私が担当している活動団体紹介コーナーですが今月はお休みです。「こども食堂こころの家」の紹介をする予定でしたが体調を崩してしまい断念(/\_;)次号には掲載しますので楽しみにしてください!(橋谷優希)

市内の小中学校で授業を一緒にしている障害のある方からメッセージをいただきました。授業を終えた後に、まちで子どもたちから声をかけられるようになり、さらにその子の親とも仲良くなったと!子どもたちによってまちが変わっていることを感じます。(宮崎雅也)

夏祭りの話題ver.2♡今夏V・Cにお祭りの手伝いのボランティア募集の依頼が数件来ました。自治会や子供会も担い手不足。若い力を必要としています!地域のお祭りやイベントは、自分の居場所作りにもなります。是非ご協力を♡(中村康子)